

第10期(令和3年度～4年度)

# 鹿角市行政評価市民会議

## 意見集

令和5年3月

◆第7次総合計画前期基本計画

取組方針	担当課	事業又は項目名	令和3年度			継続検討課題	令和4年度				継続検討課題	
			R3 委員の意見	既に取組中であったもの	R4実施計画(7次総)に反映したもの		R4 委員の意見	既に取組中であったもの	R5 実施計画に反映したもの	反映が困難なもの		
1 地域産業の成長を支援します	産業活力課	産業人材育成支援事業	・産業人材の確保については、女性の活躍が期待される状況であるが、建設業では男性の人材不足も深刻だと感じる。(R3第2回)	・事業所が自らの従業員に行う能力及び技術力向上に繋がる資格取得や研修会等の費用を助成し、人材育成を支援している。								
2 市民等の意欲のある就労・就農を支援します	産業活力課 /すこやか子育て課	地元就職促進事業/母子家庭等自立支援給付金事業/就職氷河期世代活躍促進事業/女性若者資格取得支援事業		・市内企業への就職促進のため、かつの商工会事業の支援など地元就職促進事業を実施している。 ・就職を目指す女性や若者及び就職氷河期世代を対象に、スキルアップにつながる資格取得に対し補助金で支援している。	・ひとり親家庭の母または父が、職業に関する教育訓練を受講する際、その費用及び訓練中の生活費を支援し、手に職となるスキルを身につけたい、新しいキャリアを開拓したい、と考える人を応援する。		・資格を取得させることが目標になっているが、子育てしやすいなど働きやすい環境づくりの視点の取組が薄い。(R4第2回)	・職場環境などの待遇の改善については、企業が主体的に取り組むべきこととしている。なお、求人倍率の上昇を受けて、雇用調整会議において、待遇改善を依頼することとしている。				・コロナ禍や物価高騰等により疲弊した企業等がより力強く事業を展開できるよう、雇用条件の改善や子育て世代の女性の就労環境の整備を含め、働きやすい就労環境づくりに向けた就労支援の在り方を検討していく。
5 適切な医療を受けられる体制を整えます	福祉総務課	テレフォン病院24事業					・テレフォン病院24事業について、子育て世代は助かる仕組みだと思うが、知らない人も多いと感じるので、もっと周知してほしい。(R4第1回)	・これまでも、広報や市HP、ポスター・チラシ等により周知しているが、市民アンケートの結果をもとに、広報、病院、ラジオを中心に、各検診や市の窓口などで、効果的に周知していきたい。		・本事業をさらに周知するため、新たに啓発グッズ(名刺サイズのマグネットシート)を作製して全戸配付を行う。		
		かつの地域医療推進事業/あんしん医療連携事業/鹿角地域医療多職種連携推進学講座設置事業/医師確保対策事業/かつの厚生病院支援事業/医療機関開設資金支援事業					・かつの厚生病院の医師が不足しているため、予約が必要な診療科目が多く、特に高齢者には大変。(R4第2回)	・かつの厚生病院での医師確保に向け直接的な支援を実施しているほか、医学生に対する修学資金支援や診療所開設予定医師に対する開業支援、在宅当番医や在宅当番薬局による体制づくり等に取り組んでいるが、さらなる医療連携により、引き続き必要な地域の医療体制の構築を図っていく。		・これまでの医師確保策や支援策を行いながら、引き続き常勤医師の派遣を要請していくとともに、医療機関の新規開設にかかる継続支援や事業承継についても支援を検討することで医師確保につなげ、適切な医療を受けられる地域の医療体制の構築を目指す。		
6 結婚の希望が叶うよう応援します	政策企画課	出会い応援事業	・結婚支援について、参加者の固定化という課題があるようだが、出会いイベントに参加するのが恥ずかしいという声も聞くので、参加しやすい出会いの場があればいいと思う。(R3第2回) ・近隣県など、往来しやすい地域との交流を進めてはどうか。(R3第2回)	・結婚サポーターや市民団体等による出会いの場の提供を出会い創出事業補助金で支援するほか、市が主催する出会いイベントでは、寄せ植え体験やアロマワックスパー作りなどを行いながら、参加しやすい雰囲気づくりに努めている。なお、参加者は、男性は市内在住者に限るが、女性は大館市や盛岡市など市外にも周知し、受け入れている。	・出会いの機会の提供にとどまらず、イベント参加に向けた事前セミナーや参加後のフォローアップなど、継続的な支援を充実させる。		・子育て支援は他の自治体と比較しても充実していると思うので、結婚支援に注力してほしい。(R4第2回)	・結婚サポーターや市民団体等による出会いの場の提供への支援や、市が主催する出会いイベントによりマッチングを応援しており、婚姻時にも住宅購入や借入・引っ越し等の費用について支援を行っている。		・結婚支援を充実させるため、新婚世帯に対する住宅購入や借入・引っ越し等の費用支援について要件を緩和し、支援内容を拡充した。 所得要件:400万円未満→500万円未満 支援内容:夫婦ともに29歳以下の場合には補助率1/2、上限60万円に拡充(それ以外:夫婦とも39歳以下で補助率1/2、上限30万円)		
		結婚サポート推進事業	・若い世代ではマッチングアプリを使う人もいるようなので、コロナ禍の情勢を踏まえると、対面での出会い以外の方法も有効ではないか。(R3第2回)	・あきた結婚支援センターでは、自宅からも参加できるオンライン婚活を実施している。なお、市ではあきた結婚支援センターの入会登録料を全額負担し、出会いを支援している。								
7 地域ぐるみの子育て支援を充実します	すこやか子育て課	すこやか子育て支援事業/ファミリー・サポート・センター運営事業/放課後児童クラブ運営事業など	・晩婚化や未婚化を考慮すると第1子からの支援が必要ではないか。加えて、出産できる病院も遠くなったので、まずは第1子の子どもが欲しくなるような工夫を期待する。(R3第2回)	・一時的な経済支援だけではなく、保育料無償化のほか、ファミリー・サポート・センター事業や児童クラブ運営など、子どもの成長段階に応じて、その都度親の経済負担を軽減させる子育てサービスの充実を図っている。	・保育環境の充実を図るため、年度途中であっても保護者が希望する保育園に入園できるよう、更なる対応改善を図る。また、児童クラブに対する保護者のニーズに対応するため、学校休業日における開所時間を一律7時間45分に統一し、開所時間を延長する。							
		妊産婦支援事業		・大館市立病院における妊産婦健診や出産に要するかかりまし経費の一部について、一律2万円の支援をしている。	・妊娠・出産に伴う精神的・経済的負担の軽減を図るため、妊産婦健診や出産に要する費用の助成を一律2万円から10万円へ拡充する。							
8 高齢者のいきいきとした暮らしを支援します	あんしん長寿課	高齢者福祉タクシー事業	・運転免許証を返納した方を路線バス利用につなげる事業もあるが、停留所が家から遠い方もいるので、福祉タクシー事業が拡充されればよいと感じた。(R3第3回)		・福祉タクシー券について、これまでは1回の乗車につき500円券を2枚までの利用上限であったものを長距離利用のニーズに対応するため、1回4枚利用可能とした。							

取組方針	担当課	事業又は項目名	令和3年度			継続検討課題	令和4年度				継続検討課題	
			R3 委員の意見	既に取組中であったもの	R4実施計画(7次総)に反映したもの		R4 委員の意見	既に取組中であったもの	R5 実施計画に反映したもの	反映が困難なもの		
11 安全・安心な住まいづくりを進めます	都市整備課	安全安心住まいづくり事業						・リフォーム支援の補助額は、物価高騰に見合った額になっていないのではないか。(R4第2回)		・カーボンニュートラルの実現とエネルギー・物価高騰対策として、断熱改修を伴うリフォームを新たに支援する。	・R3から安全安心住まいづくり事業を実施しているが、長期的に持続可能な支援策として実施しているため、物価に連動させた支援とはなっていない。	・エネルギー・物価高騰は、あらゆる制度に影響をおよぼしているため、行政コスト全般において、今後の動向を注視していく。
12 地域に合った公共交通手段を確保します	生活環境課	地域公共交通確保対策事業/交通弱者支援事業	・自家用車で移動する市民が多いため、公共バスの利用者が増加することはないのではないか。(R3第2回)	・八幡平地区において、予約型乗合タクシーの実証運行を実施し問題解消に向けた検討を実施しているほか、地域のニーズに合った移動支援として、地域乗合交通を推進している。 ・運転免許証返納者及び70歳以上の高齢者に対し、路線バス利用料補助を実施し、公共交通機関の利用推進を図っている。		・「地域公共交通計画」をR4年度に策定することとしており、輸送資源の総動員による移動手段の確保や、既存の公共交通サービスの改善の徹底など、利用者の増加につながる取組を検討する。			・「地域公共交通計画」をR4年度に策定することとしており、輸送資源の総動員による移動手段の確保や、既存の公共交通サービスの改善の徹底など、地域の実情に合った交通の在り方を検討している。			・地域公共交通計画の基本目標2において「分かりやすく・使ってみようと思える利用環境の充実」を掲げており、待合環境の整備や案内機能の強化、オープンデータ化の推進やリアルタイムの情報発信などバス利用者の増加につながる取組を充実させていく。
	産業活力課							・電気自動車の導入など地球に優しい手段を検討してほしい。(R4第2回)	・脱炭素に向けた実行計画を作成している段階にあり、その対策の一環としてEVへの切替も検討していくこととしている。	・EVへの転換を図るため、R6のEVマスタープランの作成に向け調査等を行うとともに、事業者向けに小型EV車3台を導入して実証を行うこととしている。		
16 火災や救急に対する体制の強化を進めます	消防本部	魅力ある消防団促進事業	・年額報酬の引き上げもされるようだが、ボランティア要素も大きいので、人材確保が難しいと感じる。(R3第3回)			・消防団の活動についての情報発信が弱いという課題があったため、ホームページなどで活動を周知し、団員確保を図る。						
17 災害に強いまちの基盤整備を進めます	都市整備課	(河川整備事業/福士川改修関連市道整備事業/急傾斜地崩壊対策事業)						・8月に大雨の被害があったが水害対策は検討されているか。(R4第2回)	・普通河川については、浚渫や河川整備を適宜実施している。今後、河川整備計画を策定する予定であり、それに基づき必要な対策を検討していきたい。	・市が管理する河川について、土砂の堆積状況や護岸の整備状況等を調査し、取りまとめた資料を基に河川台帳を整備していくこととして、河川台帳整備しながら、必要な対策を講じていく。		
22 人や地域の活力を生む交流を促進します	政策企画課	移住促進体制充実事業/移住情報発信事業	・産業人材の確保については、女性の活躍が期待される状況であるが、建設業では男性の人材不足も深刻だと感じる。(R3第2回)	・移住者、定住者を増加させ、各産業分野の担い手を確保するため、移住コンシェルジュを配置し就職に関する相談に対応するほか、移住関連情報として本市企業の情報を発信している。								
		若者世代ふるさとネットワーク構築事業/定住促進事業	・移住対策では仕事と結びつけて取り組んでいるということで、子育て世代に対応できていると思うが、進学のために市外へ転出したもっと若い世代に対してのアプローチも必要ではないか。(R3第2回)	・進学や就職で市外へ転出した若者(25歳まで)を対象に、地元への愛着やつながりを継続してもらうため、地元情報の発信や各種相談対応のほか、特産品の仕送りを実施している。	・次世代を担う人材確保のため、本市で働きながら奨学金を返還する若者を支援し、市内定着の促進を図る。							
		域学連携推進事業/県外大学等調査研究活動奨励事業					・学生の受け入れに関わったことがあるが、発表会をして終わりという印象があり、もったいないと思うので、それが次の年につながるような一段階上の取組になるようにしてほしい。(R4第1回)	・現在は、市の課題を解決するために市政策研究所とともに共同研究というスタンスで連携して行っているが、将来的には共同研究テーマを拡大し、企業誘致や本市での起業等、人口減少対策や諸課題の解決策に繋がる取組へと発展させていきたい。	・鹿角キャンパス構想のもと、引き続き「域学連携推進事業」を進めることとしており、現在連携している武蔵野大学とのR5事業の打合せにおいても地域課題の解決につながるよう、継続的かつ発展した取組に向けた話し合いを行っている。			
24 稼げる観光振興を進めます	産業活力課	観光デジタル・マーケティング推進事業						・たんぼ小町ちゃんもデジタル化してはどうか。スタンプラリーもデジタル化してはどうか。(R4第2回)	・道の駅かつの公式ホームページではR4からたんぼ小町ちゃんを活用したチャットボットを導入して、デジタル化を進めている。		・スタンプラリーについては、R3にQRコードを活用したデジタルスタンプを導入したものの、実績がほとんど無く、費用対効果の面からR4は実施していない。	
25 スポーツの力でまちの魅力を高めよう	スポーツ振興課	スキー人口底辺拡大事業						・「スキーと駅伝のまち」を謳っているため、子どもたちが授業内外でスキーに触れ合える環境を整えてほしい。(R4第3回)		・スキー人口底辺拡大事業により、取組を強化することとしている。		・これまでの取組に加え、統合校の特色づくりでも展開していきたいことから、スキー人口の底辺拡大への効果的な取組を検討していく。
26 次世代産業の創出に取り組めます	産業活力課	EV導入推進事業						・EV車導入について、比較的導入が進めやすそうな複数台所有している人をターゲットに進めてはどうか。(R4第3回)		・EVマスタープランの作成に向けた調査、アンケート等を予定している。		・市民や事業者のニーズ等を踏まえ、官民連携して取り組める内容をEVマスタープランに反映していく。



取組方針	担当課	事業又は項目名	令和3年度			継続検討課題	令和4年度				継続検討課題
			R3 委員の意見	既に取組中であったもの	R4実施計画(7次総)に反映したもの		R4 委員の意見	既に取組中であったもの	R5 実施計画に反映したもの	反映が困難なもの	
	(生涯学習課/総務課/生活環境課)	(かつの人財発掘事業)					<p>・若者が自分たちで地域を盛り上げるための支援を充実してほしい。(R4第1回)</p>	<p>・市制施行50周年記念事業については、市民提案という形で地域を盛り上げる事業が行われている。 最近では地域住民が主体となり、行政の支援を受けないイベント等が開催されており、そういう活動を行うリーダーとの連携を図ることで、共動を進めていきたい。</p>	<p>・新たに「鹿角の未来創造わげもの塾」を開催することで、地域の未来について話し合い、アイデアの実現に向け中心的な役割を担い行動する人財の育成に取り組んでいく。</p>		
	(産業活力課)	(起業・創業支援事業)					<p>・近隣市町よりはよいが、空き店舗対策など商店街振興を進めてほしい。(R4第2回)</p>	<p>・(空き店舗対策のための補助事業は行っていないが、)商工会等へ空き店舗を活用するよう連絡している。</p>	<p>・これまでの起業・創業支援に加え、第二創業支援(事業者による異業種への取組み)を新設したことで、空き店舗活用も含めた商店街振興を進めていく。</p>		